

第 4 回 新花巻図書館整備基本計画（試案） 検討会議

事務局資料

令和 3 年 7 月 2 7 日
花巻市 生涯学習部
新花巻図書館計画室

新花巻図書館サービスの基本に基づき、利用対象者別サービスは以下のとおりである。

6. 行政機関へのサービス

花巻市の現在を的確に把握し、将来を考えるためには、行政に関する資料、情報はなくてはならないものであり、本市が抱えている課題の把握に努め、課題の解決に役立つ資料、情報の収集・提供に努める。また、行政職員などが必要とする行政関係資料等を的確かつ迅速に提供するように努める。また、行政各課の求めに応じて行政資料の保存と提供を行う。

- 行政機関への行政に関する資料・情報提供を行います。イントラネットや紙媒体によって地方自治・行政関係のブックリスト及び関係雑誌の情報提供を行う。
- 行政機関への予約・リクエストサービスに力を入れ、定期的な資料配達を検討する。
- 行政機関からの依頼に応じた行政・地方自治に関する調査支援に力を入れ、行政課題の解決に役立つような資料・情報提供を行う。

(1)開館時間

市民の就労形態やライフスタイルが多様化している中で、多くの市民が利用できるように、次のとおりの開館時間と休館日を基本とする。

開館時間

火～土 10:00～20:00

日祝 10:00～19:00

休館日

毎週月曜日、毎月1日、年末年始、蔵書整理期間

参考 近隣図書館等の状況

施設名	開館時間	休館日
現花巻図書館	9:00～18:00	曜日による定休なし、祝日、毎月1日、年末年始、蔵書整理期間
北上中央図書館	火～金 9:00～19:00 土日祝 9:00～18:00	毎週月曜日、年末年始、蔵書整理期間
水沢図書館	火～日 9:30～19:00	毎週月曜日、祝日、年末年始、蔵書整理期間
一関図書館	平日 10:00～20:00 土日祝 10:00～19:00	毎週月曜日、第4木曜日、年末年始
紫波図書館	火～金 10:00～19:00 土日祝 10:00～18:00	毎週月曜日、月末、年末年始、蔵書整理期間
岩手県立図書館	9:00～20:00	曜日による定休なし、月末、年末年始、蔵書整理期間

(2)貸出点数と貸出期間

図書や資料の貸出点数と期間は、利用者が利用しやすい冊数と期間とする。

対象資料

本・CD・DVD等

貸出冊数

15点（市内4館で）

期間

3週間

参考 近隣図書館等の状況

施設名	対象資料	貸出冊数	期間
現花巻図書館	本 ビデオ、DVD CD、カセット	10冊（市内4館で15冊） 1点（市内4館で2点） 3点（市内4館で5点）	14日 7日 7日
北上中央図書館	本 CD・DVD等	市内3館から5冊ずつ 自動車文庫から10冊 3点（本の5冊に含む）	15日 15日
水沢図書館	本 視聴覚資料	20冊（全館で） 3点（本の20冊に含む）	14日 14日
一関図書館	本・CD・カセット ビデオ・DVD	制限なし（予約は15冊） 5点	3週間 3週間
紫波図書館	本・CD等	20点（うちCDなど5点）	15日
岩手県立図書館	本 DVD・ビデオ・CD	15冊 3点	3週間 2週間

(1)広い分野の収集①

- 「花巻市立図書館資料収集方針」「花巻市立図書館資料選定基準」に基づき、適切に資料を収集するが、新花巻図書館整備に向けて新しい基準を設ける。
- 多様化、高度化する市民ニーズに対応するため、幅広い分野の図書と資料の収集に努める。
- 収集する資料の種類は、一般図書、児童（乳児・幼児・小学生）図書、ティーンズ（中・高校生）、高齢者、障がい者、レファレンス資料、地域資料・行政資料、逐次刊行物（新聞、雑誌等）、視聴覚資料（音声資料、映像資料）、多文化資料など幅広い分野とする。
- 一般図書は、読書活動に資する読み物、日常生活や趣味に役立つ実用書、仕事、調査・研究に必要な資料など、利用者の多様なニーズに対応するために多岐にわたる資料を収集する。
- 児童図書は、読み物のほかに図鑑など広くあらゆる世界に興味を広げるための図書や絵本、紙芝居、ボランティア等の読み聞かせに適した大型絵本などを収集する。
- ティーンズ向けには、進学や就職などこの世代に身近な関心事や生活スタイルに応じた図書や資料を収集する。
- 高齢者向けには、この世代に関心が高い保健、福祉、医療などや、余暇の充実や生きがいづくりに役立つ図書、大活字本や録音図書などを収集する。
- 障がい者向けには、大活字本、録音図書、点字図書、写真集等の資料と、障がいの種類や状況に応じた図書をできるだけ収集する。
- レファレンス資料については、利用者が求める資料を随時提供していくために、様々な検索関連資料や専門的な分野の資料を収集する。

(1)広い分野の収集②

- 地域資料・行政資料は、本市の観光や産業はもとより、地域の歴史や文化に根ざした資料や情報、行政が発行した資料など、将来の花巻市の財産として継承できるように収集する。
- 逐次刊行物（新聞・雑誌等）は、本市や各地域の住民生活に関わりの深い新聞や雑誌等を収集し、デジタルでの提供も検討する。（概ね新聞は25紙、雑誌は200タイトル）
- 視聴覚資料（音声資料・映像資料）は、CD、DVD、ブルーレイ等をはじめ、新しいメディアに対応した資料を収集する。
- 多文化資料（外国関係資料）は、本市と関わりの深い外国語資料をはじめ、外国語図書や雑誌、新聞等、市民の多文化理解や国際理解に資する資料を収集する。
- 市民利用者の利便性を高めるため、電子図書についてはまず読み物を中心に導入し、今後の動向も踏まえながら、計画的に導入する。
- 宮沢賢治などの論文の収集はもとより、ある程度専門的分野も考慮し、収集する。

(2)先人や郷土資料を充実

- 宮沢賢治や高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸稲造等、本市ゆかりの多くの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした、先人関係の資料を積極的に収集・保存する。
- 先人や郷土に関する資料、本市行政資料など、本市に関わる資料を収集・保存し、総合的な管理と情報の集約を図る。
- 本市ゆかりの先人に関して、それら人物の著書、研究資料等をはじめとした図書企画展示等やイベントを開催するなど、先人を通じた読書活動の推進に努める。
- 大迫・石鳥谷・東和の各図書館では、地域の特徴を生かした資料収集に努めており、大迫図書館は、早池峰山、早池峰神楽など、山岳や神楽、民俗芸能等に関する資料を、石鳥谷図書館は、南部杜氏ゆかりの地であることから酒に関する資料を、東和図書館は、近代絵画の先駆者萬鉄五郎の生誕の地であることから、芸術に関する各分野の資料の収集・保存に努める。
- 中央図書館として、各図書館と連携して各地域の歴史や文化、先人や偉人に関する資料の収集と紹介をする。
- 各記念館・美術館・博物館等と連携して、専門的な資料やデータなどの資料提供に努める。

(3)視聴覚資料や電子資料の活用

- 視聴覚資料や機材については、計画的な収集と整備を行うとともに、生涯学習施設・学校教育施設等における活用促進を図る。
- 視聴覚資料については、既存のDVD等による資料のみならず、デジタルデータ資料の保存に努め、その活用を図る。
- インターネットを活用したデータベースなど、電子資料を活用した情報提供に努める。
- これまで蓄積されてきた視聴覚ライブラリーの視聴覚教育教材・機材の保管に努め、それらの活用を図る。
- 電子図書については今後の動向も踏まえながら、計画的に導入する。【再掲】
- 本市特有の専門的な資料やデータについては、デジタル化を図り保存するとともに公開をすることを検討する。

(1) 図書館管理システム

① 図書館情報システム

- 図書の管理（貸出、返却、予約、督促）と利用者の管理は現在の富士通製クラウド型図書館システム（WebiLis）を基準としたシステムで行う。
- ソフトウェアはクラウド型図書館情報システムとし、データセンターとの通信は、データを暗号化してセキュリティ面を配慮したものを導入する。
- 図書館の利用者が、インターネットからも予約が可能なシステムを導入する。
- バーコードと非接触型ICタグにより資料管理が可能な図書館情報システムとし、高効率な業務処理と短縮化が図れるシステムを導入する。
- 自動貸出装置を設置し、資料の貸出をスムーズに行うとともに、プライバシーにも配慮した環境を整える。
- 利用者検索用端末を、随所に配置して所蔵する資料を容易に検索できる環境を整える。
- 資料無断持ち出し防止装置（DBS）を設置し、資料の無断持ち出し防止に努める。

② 利用者用機器

- タブレット端末等、移動しながら資料検索やインターネット検索が可能となるよう、利用者貸出用の端末を整備する。
- CDやDVDなどのパッケージ型電子資料を管内で利用するために、視聴覚機器を整備する。また、視聴覚機器は今後、新しいメディアによる資料の増加に対応するために、メディアの安定性や将来性などを考慮する他、利用者や職員の操作性、衛生面にも配慮した機器を整備する。
- 複写機を設置して、著作権の範囲内で複写サービスを行う。

(2) ホームページ

ホームページから資料の貸出の予約や延長の手続きができるようにし、新しい技術への対応を目指します。

新花巻図書館の職員体制

- 司書資格を持つ職員を計画的に配置するなど、職員体制の充実を図る。
- 専門的な知識を深め多様な世代のレファレンスサービス（相談・支援）に対応できるよう研修などにより職員の育成に努める。
- 効率的で質の高い図書館サービスを提供するため、図書館業務の自動化と省力化を図る。